

令和5年度岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理運営業務報告書

第1 事業の実施状況

(1) 管理運営の目標値の達成状況

①防災文化の継承・発信

- ・公園ホームページを開設し、震災遺構、高田松原、伝承館等の情報を掲載した。
- ・公園内構成施設について、ホームページでの相互リンク設定やリーフレット等の相互配架を実施した。

②郷土の風景づくり

- ・「高田松原を守る会」と随時情報交換を行い、本公園内の松育成作業を実施した。
- ・新植されたサクラ、マツ等は、毎日の巡回で観察し、支柱の結束し直しなど適切な育成管理を実施した。

③多様な団体の活動支援

- ・協働グループの事務局を補佐し、本公園での各団体の円滑な活動を支援した。
- ・協働グループや市立博物館と連携し、自然とのふれあいや幅広い世代が参加できるプログラムを提供した。

④安全・安心な利用環境

- ・避難ルートの確認や防災訓練を実施し、防災力の向上、お客様の安全管理や利用案内等の対応力を強化した。
- ・安全・安心に関する研修（安全衛生、普通救命講習、コンプライアンス等）を実施した。
- ・全国的な公園管理のネットワークを活かし、全国の安全管理等に係る情報を共有し、本公園の安全点検や点検結果に基づく対応、維持管理水準の確保等へ反映させた。
- ・新型コロナウイルス感染症等への対応として、トイレへの石鹸の設置、手で触れる共有部分の定期的な消毒等を実施した。

⑤高田松原津波復興祈念公園の一体的な管理

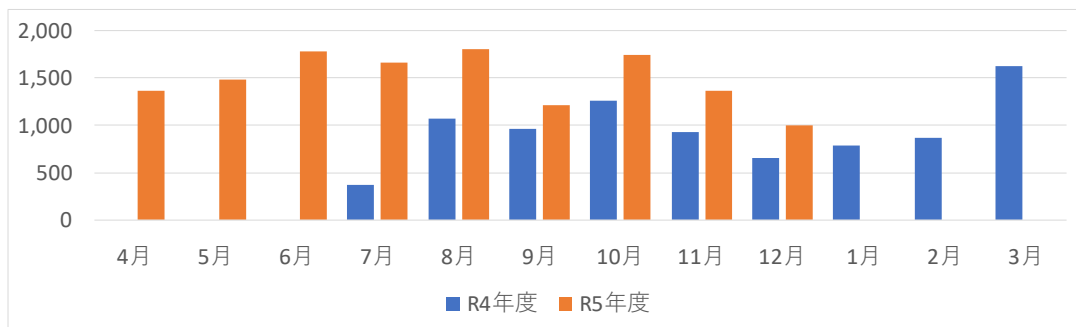
- ・園内の各事業者と信頼関係を築き、情報共有、連絡調整を実施した。
- ・ホームページで本公園の魅力を発信する他、祈念公園全体の情報提供を実施した。

参考1) 会議室の利用状況

	R4年度	R5年度	増減	前年比	備考
利用件数	32件	26件	-6件	81.3%	
稼働率	8.6%	9.2%	0.6%pt		

※R5年度は12月末現在

参考 2) HP アクセス件数



(2) 管理運営の実施状況

管理運営状況全般	<p>○施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全園の巡視を実施し、異常箇所の早期発見、即時対応を心掛けた。 <p>○植栽管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的草刈りや、開花結実期を避けた草刈りの実施により、ハマエンドウやハマヒルガオなど海浜植物の保護に努めた。 ・全国植樹祭開催にあたっては、全国からの招待者をお迎えすべく、県と連携・調整して会場周辺の草刈り作業を実施した。 ・全国植樹祭対応で前倒し措置した分相当として補正予算が付いたことから、再委託による 2 回目の草刈りを実施することが出来た。 <p>○清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園管理事務所およびトイレ（2 棟）の建物清掃は、利用状況に合わせて基準回数以上の頻度で実施した。また、毎日の巡視時に汚れが見られる場合は、簡易清掃を実施した。 <p>○利用管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園法、県立都市公園条例をはじめとする関係法令に基づき、公園内の禁止行為をホームページや看板等で案内し、確認された場合は丁寧な説明による利用指導を行った。 ・行為の許可にあたっては、「行為許可の取扱指針」に則り、形式審査・内容審査のうえ、適正に対応した。
----------	--

問題点・課題	<p>① 「芝刈り」「下草刈り」は植栽管理基準で年1回しか計上されていないことに加え、業務対象に含まれておらず手つかずの箇所もある。そのため、草丈が高くなった場所が利用の支障となっている。また、将来的に雑草が優占することで、さらなる利用の妨げとなる可能性がある。</p> <p>② 防潮堤の法面は植栽管理基準の数量に含まれておらず、手つかずの状態となっている。そのため、景観上の問題に加え、帰化植物（雑草）の種子供給源となっている。</p> <p>③ 経年劣化による腐朽が進み、交換時期を迎えているマツの八掛け支柱が強風により破損。倒伏したマツや、やらず杭の抜けた支柱が園路に飛び出し、歩行者に危険が及ぶ状況となっている。</p> <p>④ 古川沼沿いの碎石園路について、雑草の侵入により通行できない状態となっている。</p> <p>⑤ 降雨時、盛土で押し固められた地盤に雨が浸透しない。そのため、流れ出た雨水が園路に集水して園路が冠水し、通行の阻害要素となっている。</p> <p>⑥ 会議室の利用について、地元の方は津波の浸水区域を避ける傾向にあること、市内の競合施設がかさ上げ地区にあることなどから、当初設計の利用率と現実との間に乖離がある。</p>
問題点・課題への対応	<p>① 再委託の作業に加え、利用者の支障となる箇所については直営作業で可能な限り対応した。</p> <p>② 園路沿いなど利用の妨げとなる箇所は、指定管理者で草刈りを実施した。</p> <p>③ 公園利用者に危険が及ぶものについて、順次、支柱の更新を図っている。</p> <p>④ 2本並行する園路の内、1本は直営で人力伐根除草を行い、通路を確保した。</p> <p>⑤ 冠水時には、国営追悼・祈念施設と連携して通行止め措置を行っている。水が引かない箇所は、試験的に溝を掘るなど、排水を試みた。</p>

	⑥ 利用促進策として、イベント開催とそれに伴う報道等による周知を図りつつ、公園ホームページからの空き状況確認・利用申請等、利便性の向上に努めた。
--	--

(3) 職員の配置状況

別添「職員配置報告書」のとおり。(添付省略)

(4) 委託の実施状況

業務名	業務内容	受託者名	契約額(千円)
夜間警備業務(機械警備)	管理事務所の機械警備業務	株式会社 N・SAS	231
自家用電気工作物 保安業務	管理事務所の自家用電気工作物の 保安業務	一般財団法人 東北電気保安 協会	198
換気・空調設備 保守点検業務	管理事務所内の換気・空調設備の 保守点検およびフロンの点検業務	エヌ・ティ ファシリティ ーズ株式会社	115
消防用設備 保守点検業務	消火器・非常警報設備の保守点検 業務	宮城ノーミ 株式会社	30
植物管理業務	芝刈り業務および樹木管理業務	大和造園土木 株式会社	12,183
ホームページ 保守業務	ホームページの保守業務	一般財団法人 トナリノ	563

(5) 法定点検等の状況

点検時期	点検項目	点検結果
6・12月	消防設備等(消防法)	異常なし
偶数月	自家用電気工作物(電気事業法)	異常なし
5・8・11月	空調設備(フロン排出抑制法)	異常なし
毎月	夜間警備設備	異常なし
11月	換気設備	異常なし

第2 利用状況に関する事項

(1) 有料公園施設の利用状況

別添「有料公園施設利用状況」のとおり

(2) 利用促進のための事業の実施状況

○主催イベントの開催

- ・会議室のPRを兼ねて、公園内で採取した材料を使ったクラフト体験や、ドキュメンタリー映画の上映会などのイベントを開催した。

○関連施設との連携

- ・公園周辺施設との情報共有、連携イベントの検討を行い、「花火大会」「海開き」など関連する地域の取組みの際には、公園での利用案内や安全な運営のための支援を行った。
- ・岩手医科大学と連携し、高田松原海岸および古川沼にて夏休み自由研究応援企画「高田松原でカニを探そう！」を開催した。
- ・陸前高田市立博物館との共催により、古川沼にて「野鳥観察会」を開催した。
- ・会議室を活用し、多賀城将棋ラボ主催の「陸前高田ふれあい将棋フェスタ」を開催した。

○協働グループとの連携、市民協働体制の充実

- ・各会議への参加および公園利用の調整を行うとともに、道具の貸し出しや預かり、広報など日常的な活動の支援を行った。また、団体同士の連携・交流を促進し、公園全体の行催事にも発展しうる持続可能な活動を推進した。
- ・NPO 法人 高田松原を守る会と陸前高田ロータリークラブの共催による「高田松原ハマナス植樹会」の開催をサポートした。
- ・ラムサールを目指す会と連携し、公園ホームページにて古川沼で見られる水鳥を紹介した。
- ・協働グループ有志の実行委員会による「川原川であそぼう！」の開催をサポートした。
- ・NPO 法人 Green Fields と連携し、コミュニティガーデン講座「ハーブを楽しむ花壇づくり」を開催した。
- ・陸前高田フラワーロードを応援し隊！、NPO 法人 Green Fields、陸前高田花の会と連携し、国道45号沿いへのスイセンの植栽および、公園管理事務所前のプランターの植え替えを行った。
- ・「NPO 法人きらりんきっず」と連携し、防災キャンプイベント「キャンプテントを張って火起こし体験」を開催した。

第3 経理の状況に関する事項

(1) 決算の状況

ア 収入の部

(円)

項目	予算額	収入見込額	差引	内訳
管理代行料	38,420,000	45,058,077	6,638,077	
利用料金収入	66,000	60,640	▲ 5,360	会議室利用料他
自主事業収入	0	3,500	3,500	
計	38,486,000	45,122,217	6,636,217	

イ 支出の部

(円)

項目		予算額	支出見込額	差引	内訳
人件費	給与	15,985,000	15,419,445	▲ 565,555	事務所スタッフ給与、社会保険料等
一般管理費	賃金	6,600,000	6,181,943	▲ 418,057	マルチスタッフ賃金、社会保険料等
	需用費	4,180,000	4,595,454	415,454	機器等賃貸料、光熱水費、消耗品費等
	役務費	990,000	897,481	▲ 92,519	電話、通信運搬費、施設賠償保険等
	委託料	7,590,000	14,804,018	7,214,018	第三者への委託費等
	事務雑費	55,000	123,310	68,310	銀行振込手数料等
	租税公課	2,306,000	2,182,164	▲ 123,836	未払消費税等
	その他諸経費	780,000	914,000	134,000	
計		38,486,000	45,117,815	6,631,815	

(2) 行為許可に係る利用料金の免除の状況

免除件数	免除額
16件	227,150円

(3) 有料公園施設の利用料金の減免実績

施設名	件数	減免した額	備考
会議室	14件	37,800円	

(4) 修繕費の状況

該当なし

(5) 備品の購入状況

購入備品名	使用目的	購入額
三脚脚立	高木支柱の補修等の為	54,890円
計		54,890円

(注) 指定管理料で購入した備品について記載してください(消費税を含む。)

(6) 電算システムの構築状況

該当なし

別添：有料公園施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室	件数(件)	0	0	3	9	3	2	3	3	3				26
	人数(人)	0	0	56	73	19	40	30	108	47				373
	時間(時)	0.0	0.0	6.0	23.5	4.5	4.0	10.0	15.0	10.0				73.0
	金額(円)	0	0	2,800	19,600	700	5,600	1,400	11,200	2,100				43,400